

カトリック

広島教区報

No. 97

カトリック
広島司教区

発行責任者
広報担当
服部大介神父

「点訳版」あります。
お問い合わせください。

広島市中区鞆町 4-42
広島司教区内
TEL (082) 221-6017

待望の広島教区予備神学校開校！

広島教区召命促進委員会委員長

後藤正史神父

二〇一二年四月、教区召命促進委員会が発足し、召命促進の柱として、教区予備神学校が位置づけられ、二〇一三年十月、教区で働く司祭の森山研修会で、司

祭たちの理解が深められ、十一月二十四日予備神学校開校が宣言されました。その後、二〇一四年二月、姉妹教区韓国釜山教区で教区の神学生のために開かれた



堅信と予備神学校や霊降る

研修会に司祭四人、信徒一人の計五人が参加しました。神学生五十人の輪の中に私たちを加えてもらい、予備神学校の教育の柱となる実践教理教育を共に研修する機会が与えられました。この研修会参加も姉妹教区の大らかな実りと

言えるでしょう。

五月四日から六日まで三日間の日程で、韓国で二十年来、実践教理教育を指導しているシスター講師お二人をお招きし、司祭・修道者半数、信徒半数、計三十三人が学び、予備神学校スタッフ、あるいは各教会・学校の信仰教育スタッフ養成の場となりました。

そして遂に迎えた第一回予備神学校、小五から高三まで十三人の子どもたちが参加し、六月七日十六時から八日十二時半までの日程で行われました。基本姿勢は「子どものように」です。参加者は、それぞれのこだわりや思い込みからまず解放されるよう招かれます。実践教理教育の良い所は、司祭もリーダーも子どもも同等の立場で参加できるといふことです。これは、第二バチカン公会議で提示された教会観、「神の民としての教会」を体で感じ取る

予備神学校開校

教区の動き「平和年」・津和野列聖運動

平和行事プログラム・JICA R M 広島

東日本大震災支援・世界平和記念聖堂関連

地区・海峡からの風・施設・青少年・ひと粒

一面
二・三画
四面
五面
六・八面

教育方法であり、司祭、修道者、大人たちも、子どもたちを上から目線で見る傾きを正す、すぐれた方法だと思えます。

実践教理教育では、原則、円い形に坐り、全員、互いの顔が常に視野に入っています。そして、見て、聞いて、触るといった、身体感覚を最大限活用します。

今回は、一日目はサムエルの召命、二日目(ちようどこの日が聖霊降臨の大祝日)は聖霊降臨に取り組みました。参加者は飽きる暇も、退屈する暇もありません。ゆつくりとではありませんが、絶えず、感覚を使っているからです。様々な色の布やひも(四角いの、長い、淡いの、濃い)、様々な形・大きさ・色の石や木片、さらにはボールやフープなども使

い、工夫できるものほんんでも活用できるようです。実りある研修にするには、スタッフがどのように道具を選ぶかという創造性が求められます。今回の教育プログラムを通して、子どもたちは召命と聖霊降臨について、身体で、また映像として理解したに違いありません。

次回は九月二十日(土)二十一日(日)、今回同様、愛宮ラサール記念館(広島カテドラル鞆町教会)で開催されます。各教会の主任司祭の皆さん、教会学校の皆さんの一声が召命促進の第一歩です。ご理解とご協力を。



2014平和行事ポスター
*詳細は4面参照。

教区の動き 広島教区「平和年」始まる



「平和年」ロゴマーク
来年二〇一五年、
広島・長崎は原爆投
下から七十年を迎え
ます。
今年二〇一四年八
月六日は、「世界平
和記念聖堂」献堂

六十周年記念日です。

広島教区は、「世界平和記念聖堂」献堂六十周年から「被爆後七十年」までの一年間を「平和年」（二〇一四年八月六日～二〇一五年八月六日）とします。

①この一年の毎月「六日」を「平和の日」とする。

②聖書、教会公文書、社会教説、「平和アピール」（ヨハネ・パウロ二世）を通して、「平和」を学び、活動の源泉とする。

③それぞれの土地にある「戦争と平和」に関する記念碑、モニュメント、記念館、史跡などを調べる（教区創立百周年までに記録集を刊行する）。

以上のことを中心に「平和年」に取り組んでいきます。

■広島教区宣教司牧評議会開催

六月十五日、二〇一四年度第一回広島教区宣教司牧評議会（以下、教区宣司評）が開催された。前田司教、司祭、修道者、信徒の二十五人が出席した。

前田司教から、挨拶に続きメッセージを頂いた。

・一〇〇周年に向けての今後十年の歩みは、

平和の使徒となろう

チャレンジ 新しい福音宣教

「わたしをお使いください」

「平和の使徒となろう」は、まさに広島教区の固有の召命であり、もっとも大切なことである。二〇一四年～二〇一六年のテーマは、「家庭へのチャレンジ」である。「家庭」も、様々な問題、課題、捉え方の違い、各々の家庭環境がある。その中で、自分に合った、自分にとつての

平和の使徒となろう



平和の使徒推進本部

かって努力して欲しい。

次に、三地区、伯雲ブロックからテーマに対する取り組みや、現状について報告があった。その報告を受け、教区全体の動きについて平和の使徒推進本部から方向性の提案が示された。

・前田司教の意向を踏まえ、まず一年目は目標を立て、その後の二年間でチャレンジしていく方向性で進めたい。

・キーワード『私の「家庭へのチャレンジ」として、私は〇〇をします』という目標、宣言を立ててもらう。

・「家庭」に関する教会公文書についての学習などを推進する。推進本部ホームページ上で「家庭」に関する教会公文書を紹介していく。

続いて、教区の優先課題について、前田司教からメッセージを頂いた。

・四つの優先課題についてすべて繋がったものとして考えられる。

・津和野殉教者列聖運動については、家庭での信仰教育を殉教者の信仰に照らし合わせることもできる。彼らが聖書のみことばを知っていたかどうかは不明だが、家庭を中心に信仰が継承された。まさにモリちゃんの信仰は、初聖体のテキスト作成にも役立つもの。堅信は祐次郎の生き方を参考にすることができ。結婚は、安太郎の姿と重なる。

・召命促進、青少年育成においても、まさに「信仰継承は、まずは家庭から」と言える。

●各優先課題について

《津和野殉教者列聖運動》

「カトリック生活」（二〇一四年五月号）の特集記事を読むことで、広島教区が目指していることが伺える。列聖委員会として、促進部会、歴史部会、法務部会が取り組んで行く。署名一万人分を集めたい。

《召命促進委員会、予備神学校》

教区報一ページを参照。

《青少年育成委員会》

中ブローは約五十年間、三月下旬に実施。今回

は四十八名が参加。年々参加者が減少している現状。次回は広島地区で実施予定。スタッフは「百人の参加を目指そう！」と目標を掲げ、仲間を増やす集いを目指している。

教区練成会は、八月十一日～十三日開催予定（八面参照）。参加者の減少が懸念されるが盛り上げていく。

その他、アジアニュースデー（八月十日～十八日に韓国で開催）、フィリピン・インファンタ教区を姉妹教区活動として訪問（八月十九日～二十五日）予定。

成 《教区共通カテキズムの作

・初聖体

岡山鳥取地区担当。実行委員十名で準備中。小学三年生を対象にしたものを作成する予定。学習は全二十回コースをイメージした構成を検討中。

・堅信

広島地区担当。小教区から一名ずつスタッフとして参加してもらい検討

中。テキストは、十章に分けた構成をイメージして素案を作成する予定。

・結婚

山口島根地区担当。素案は作成済み。五章に分けた構成。現在、地区内の養成推進チームで内容を協議中。

●この優先課題に対する前

田司教の意向は、

教区共通カテキズムは、今後、五年くらいを目途に作成し、一〇〇周年を迎える一～二年前に発行したい。そのためには専門委員会を立ち上げる必要がある。一〇〇周年には教区内で公に活用してもらえたいことを希望する。

●前田司教の意向である列聖

運動を公に進めることについて、出席評議員全員の賛成を得て決議した。

教区宣司評の後半は、三区、伯雲ブロック、修道女連盟からの報告があった。

（平和の使徒推進本部）

津和野乙女峠殉教者 列聖運動

昨年（二〇一三年）五月

三日、広島教区創立九十周年を記念する津和野「乙女峠まつり」のミサで、広島教区長前田万葉司教は津和野乙女峠の三十七人の殉教者の列聖運動を正式に始めることを宣言しました。

広島教区列聖委員会が立ちあげられ、前田司教委員長のもとに、推進部会（担当・ヴィタリ神父）、歴史部会（担当・肥塚神父）、法務部会（担当・服部神父）が発足しました。

殉教者たちが聖人の位に列せられるためには、先ず、わたしたち広島教区民の熱意と祈りが不可欠です。

今年の「乙女峠まつり」に向けて署名運動が行われ、千二百四十六人の署名が集まりました。

また、教皇庁に列聖調査開始を申請することを日本の司教団や他教区の信者のみなさんの同意を求める必要があります。

そのために、六月三日の広島教区司祭評議会と六月十五日の広島教区宣教司牧

評議会で、教区民が心を一つにして列聖運動を推進していく決議がされました。

これからの取り組みとして

- ①「津和野の殉教者の列聖を求める祈り」を機会あるごとに祈る。
②来年五月三日の「乙女峠まつり」までに「一万人署名」を達成する。
③この運動を広く世に知ってもらうために、シンポジウム、講演会、学習会を開く。

④広島教区列聖委員会の振替口座を開き、募金活動を行う。
などのことが考えられています。

一八六八年六月、浦上キリシタンの中心人物百十四人の流配が決定され、二十八人が津和野に移送されました。一八七〇年一月、その家族百二十五人が津和野に流配されました。（浦上四番崩れ）。

一八七三年、禁教令が解かれるまで、津和野乙女峠で、キリシタンたちは棄教を迫る厳しい尋問や過酷な拷問を、親子、夫婦、兄弟姉妹がお互いを励まし支え合いながら信仰を守り抜きました。

広島教区の二〇一四年～二〇一六年のテーマは「家庭へのチャレンジ」です。津和野乙女峠での五年にわたる浦上キリシタンたちの信仰の日々を黙想することは、「信仰と家庭」へチャレンジするわたしたちに大きな示唆を与えてくれるでしょう。

広島教区教会スタンプラリー完了者紹介

- 認定証番号第0001号 服部 大介 神父 (尾道教会)
認定証番号第0002号 小島真保子さん (福山教会)
認定証番号第0003号 星 緑 さん (福山教会)
認定証番号第0004号 渡邊 君子さん (倉敷教会)
*西大寺集会所、ロザリオ教会にもスタンプが用意されました。

広島教区 2014平和行事プログラム

『過ちは繰り返させぬから』 ～被爆後70年に向かって～

8/5 火

- 13:00～14:30
基調講演 松浦悟郎司教 (大阪教区)
- 15:00～16:30
 - ①被爆証言 深堀升治神父 (松江教会主任)
 - ②被爆証言 朴南珠さん (観音町教会)
 - ③「爆心地 ヒロシマの記録」上映とお話 田邊雅章さん
 - ④憲法について 石口俊一さん (広島弁護士九条の会・弁護士)
 - ⑤福島の現状
シスター畠中千秋 (カリタス原町ベース、聖心会)
- 18:00～18:40 平和の祈り
- 【日本聖公会との合同プログラム】
- 17:30～ 祈りの集い 原爆供養塔前 (平和公園内)
- 18:00～ 平和行進 (原爆供養塔前～本通り～世界平和記念聖堂)
- 19:00～20:15 平和祈願ミサ

8/6 水

- 8:00～9:00 原爆・すべての戦争犠牲者追悼ミサ
- 9:30～10:30 世界平和記念聖堂献堂60周年記念講演
青葉憲明さん (世界平和記念聖堂保存活用委員会)
- 10:30～12:30 世界平和記念聖堂案内
- 9:30～12:30 ピースウォーク
- 14:00～15:30 キリスト者平和の祈り
- 18:00～ 原爆犠牲者のためのスピリチュアルコンサート

8/9 土

- 11:00～ 長崎原爆犠牲者追悼ミサ



この人たちは、日本に
てから教会の存在を知つ
て、困った時に神父様など
の助けを求めるために来ま
すが、ミサにあずかること
がほとんどありません。ま
ず、キリストの事は表面的
にしかならない大人に対し

自分の国でほとんど洗礼
を受けていますが、教会へ
通う習慣はなく、子ども
の時初聖体や堅信を受けて
いない大人が多く、教会で
結婚の秘跡を受けていない
人がほとんどです。

多くの日系人たちは、この
新しい宣教の対象になつて
いると思います。

ローマ教皇 聖ヨハネ・
パウロ二世の時から、伝統
的にカトリックでありなが
らも教会から離れている多
くの人々に対して、新しい
宣教の必要性が呼びかけら
れています。

J-CARM 広島便り
チャレンジ
滞在外国人に関する新しい宣教
三原教会
アルナルド・ネグリ神父

具体的にいうと、関わる機
会は何でも利用する、助けや
通訳を頼まれた時にはそれに
応じながら関係を作る機会と
する。例えば子どもの洗礼を
求めているときはその希望を
受け入れて、信仰の根本的な
こと、キリストが教えている
家庭や結婚について話す機会
にして子どもの洗礼とともに
に、両親の結婚の秘跡をす
める。また、日本にいるその
子どもたちの信仰教育の必要
性、両親がほとんど教会に来

て、どうやって
信仰を蘇えさせ
ることができ
るでしょうかと悩
んでいます。
そこで、聖バ
ウロガテモテに
書いておるとおり、
神の御
前で、そして、生きて
いる者と死んだ者を
裁くために来ら
れるキリスト・イエ
スの御前で、その
出現とその御国と
を思いつつ、厳かに
命じます。
御言葉を宣べ伝えな
さい。折が良くて
も悪くても励みな
さい。とがめ、戒め
、励ましなさい。
忍耐強く、十分に
教えるのです。 (テ
モテ二、四章一、二
節)

折が良くて悪くても
励みなさい。とがめ、
戒め、励ましなさい。
忍耐強く、十分に教
えるのです。(テモテ
二、四章一、二節)

折が良くて悪くても
励みなさい。とがめ、
戒め、励ましなさい。
忍耐強く、十分に教
えるのです。(テモテ
二、四章一、二節)

折が良くて悪くても
励みなさい。とがめ、
戒め、励ましなさい。
忍耐強く、十分に教
えるのです。(テモテ
二、四章一、二節)



三原教会 初聖体の子どもたち 18人

なくてもその子どもたちの
信仰教育を諦めてはいけ
ないと思います。
もちろん、親たちに一緒
に教会へ来る事をいつも勧
めてはいますが、来なけれ
ば子どもを送り迎えをし
ま
す。
そして、勉強だけではな
くて、楽しい体験になるよ
うに公園で遊んだり、夏休
みでプールやキャンプに
行ったりするという活動を
あわせています。それを通
して全ての国籍の信徒が交
わる機会を作ることが必要
だと思っています。

東日本大震災支援

原田豊三神父

◆第四回東日本大震災仙台教区復興支援全国担当者会議報告◆

六月二十四日から二十六日まで仙台教区で開催され、被災地四年目の現実の報告と、今後の後方支援のあり方についての検討でした。

特に福島は厳しく、核発電所（原子力発電所）の周辺地域及び福島市・郡山市の周辺部は、除染作業を行っても放射線量は高い現状です。リスクを受けとめながら生活を強いられている方々は、不安とご苦労の中を毎日精一杯歩んでおられます。生産者が風評被害にまだまだ苦しんでいます。

現場からのメールの配信、バザーなどで取り扱う商品の紹介、ボランティアへの旅費補助などを継続していますので、ご連絡ください。

震災当初から現地に出向

本紀久代シスター（援助修道会）はこの三月末から、修道会の任務に戻られましたが、長い間のお働きにこの場をお借りして感謝申し上げます。

重要文化財 世界平和記念聖堂 耐震調査 （第二回委員会報告）

世界平和記念聖堂（国指定・重要文化財）の耐震診断事業（文化庁等の補助事業）の第二回有識者委員会がカトリック会館の多目的ホールで五月九日（金）に開催された。

第一回委員会で検討された聖堂の現況調査結果を踏まえ、一次耐震診断の結果



祭壇向かって左の説教台天蓋耐震調査

が検討された。建物の耐震基準は、阪神・淡路地震などの大地震を経験するたびに、基準や内容が精緻になつており、聖堂の耐震性能が心配されていた。今回の診断結果では、聖堂の西側（玄関付近）の柱に弱い部分があること、鐘塔の上階に耐力壁の不足があることなどが報告された。

記念聖堂の構造設計は、鉄筋コンクリート建築物の耐震構造の権威であり、東京タワーの構造設計でも知られる早稲田大学の内藤多伸先生が担当され、村野藤吾先生の意匠設計の意図を汲んで非常に合理的に設計されているが、当初の意匠を残しながら、耐震補強する難しさが再確認された。

委員会では、震度六強の大地震により、直ちに建物が崩壊するなどの重大な被害は想定しにくいものの、地盤条件などを加味した再評価が必要であること、天井材や内装材の落下対策も重要であること、外装レンガやコンクリート片などが落下する危険性も考慮した避難経路の確保などソフト

対策が必要であることなどの意見が出された。次回は、委員会で出された意見をもとに耐震補強案と概算費用の検討を行い、十一月頃に開催される予定。

以上のように記念聖堂の耐震補強工事には多額の費用が想定される。保存活用委員会では、幟町教会をはじめ広島教区の各教会と連携して、私たちの司教座でもあるこの聖堂を平和のシンボルとして保存して行きたいと考えています。次の口座または教区事務局で募金を受け付けています。皆様のご理解と絶大ななる支援をお願いいたします。

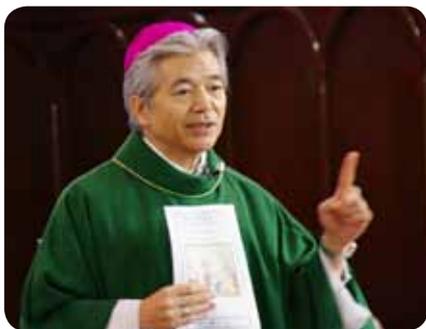
（聖堂保存活用委員会）

世界平和記念聖堂募金 郵便振替口座

口座名：カトリック広島司教区

口座番号：01320-3-109791

*通信欄に「聖堂保存献金」と記入してください。



松浦悟朗司教（大阪教区）

*講演の内容は、Youtubeでご覧いただくことができます。「GiovanniApostolo」で検索してください。

七月六日、松浦司教の「憲法学習会」が三篠教会で開催された。教会はなぜ政治的に関わるのかという声があるが、キリストの時代から、政治は私たちと関わりあるもの。教皇ヨハネ二十三世は、教皇就任当時、世界は破滅的な状態。米ソは、冷戦状態。そして、キューバ危機。ヨハネ二十三世は、米ソの仲介者となり、ソ連に平和メッセージを送りその結果、核戦争を回避することができた。政治に向かつて福音を投げかけるのは宗教者の使命。教会の大切な役割であると言われた。

松浦司教（大阪教区） 「憲法学習会」三篠教会

伯雲ブロック

今年も宍道湖・中海という共通の水系に立地している米子・松江・出雲三教会(伯雲ブロック)は、地域に根ざした教会として仲良く活動していきます。

まず去る五月の津和野乙女峠巡礼では、松江出雲から大型バスにて津和野の殉教者の列聖を求める祈りなど、また互いの交流の集いとなりました。

次に六月十五日、出雲教会にて広島教区「主和の輪」総会があり、服部神父初め各県からスタッフなどと地元の信徒二十名の交流会も盛り上がり有意義な行事になりました。「主和の輪」創立二十一年目にあたり、創立当時最初の訪問地であった出雲教会で改めて



「主和の輪」総会の様子

活動の意義を確かめることができました。

今後のブロック行事予定としては、①九月十四日ブロック勉強会(講師・清水弘神父)、②九月十五日出雲教会創立五十周年感謝ミサと祝賀会、③十一月二十四日(振り替え休日)永井隆博士追悼平和祈願ミサがあります。

特に③永井隆博士追悼平和祈願ミサは、例年の九月実施から十一月下旬に変更しました。教会と地域(飯石如己の会)、「平和を」宣言している雲南市との協力で平和を祈る行事です。ぜひ多数の皆様にご参加いただけるようご案内申しあげます。

広島地区

*「翼の会」の紹介

一九九七年九月、第六回「日本カトリック障害者連絡協議会」(「力障連」)全国大会が広島で開かれました。「翼の会」は、大会を準備した人たちを中心に誕生しました。会の名称は、詩編十七の「瞳のようにわたしを守り

あなたの翼の陰に隠してください」の祈りに由来します。父なる神の慈しみに満ちた大きな翼のもとに憩う恵みを、障害者とともに感謝する集いです。

原則的に、月に一度、会を開き、待降節・四旬節の黙想会、新年会、教会訪問、教区行事参加などを続けていきます。

「力障連」の目的は、「病者・障害者が、カトリック精神にもとづき、生けるキリストの共同体の一員として社会の福音化を目指す」ことです。現在の担当司教は広島教区長前田万葉司教です。

「翼の会」は、「力障連広島支部」の顔も持つています。

*細川ガラシャの遺跡をめぐる、宮津、京丹後、キリシタン巡礼

日程：二〇一四年十月八日(水)〜九日(木)。主催：広島地区女性連合会。同行司祭：前田万葉司教、斎藤眞仁神父。参加定員：四十人。参加費：全額自己負担。お問い合わせ：梶山聡子(幟町教会)まで。

広島教区の施設 22 清心幼稚園

清心幼稚園は一九四九年、「光の園」(原爆孤児収容施設)の後を受けて清心幼稚園として発足しました。一九五一年に認可され、一九五五年には「福音の光修道会」から「長崎純心聖母会」に保育が受け継がれています。一九八〇年には一法人一園の「学校法人祇園清心学園清心幼稚園」が誕生し、開設以来八百九十三名の園児を送り出しました。理事長、園長、数名の理事をイエズス会司祭、長崎純心聖母会シスター、祇園教会信徒が務めています。

少子化の現代にあっても当園の園児数は増加傾向にあります。それを支えるのが保護者の皆さんです。特に「父の集い」だけで三つの行事(新入園児歓迎会・夏祭り・クリスマス会)をこなすというのは、他では見られない活動であると自負しています。

当園は、「明るく仲よく神の前に正しく」をモットーに、「神と人と自分、自然を大切に育てる子ども」「心も体も健康で明るい子ども」「思

いやりと感謝の心を持つ子ども」「創造性豊かな子ども」を育てることを目指して一斉保育に励んでいます。

心の教育としては、誕生会・マリア祭・クリスマス祈りの集いなどを通して神さまに祈ったり、司祭やシスターに神さまのお話を聞く時間を設けたりもしています。子供たちは東日本大震災直後から、「きずな弁当」(一品又はデザートをがまんして百円前後を献金)や祈りを通して、隣人の痛みを寄り添うことの大切さを学んでいます。また、散歩や遠足、お泊まり保育を通して自然に、観劇・茶道を通して日本文化に触れてもいます。



青少年の活動

6人の司教と青年たちは出会い そしてWaiWai語る2 “出会ったあの時”

5月17日～18日、宝塚市にある小林聖心女子学院口ザリオヒルで「6人の司教と青年たちは出会いそしてWaiWai語る2“出会ったあの時”」が開催されました。この集いは、大阪教会管区司教団が主催し、6名の司教様（池長大司教、大塚司教、諏訪司教、野村司教、前田司教、松浦司教）を囲んで行われました。広島教区からは、23名の若者が参加しました。

正直、参加する前までとても緊張していました。司教様が何人も来られると聞いて、どきどきしながらどんなプログラムなんだろうと思っていました。宝塚について大会が始まっ

ていき、会が進んでいくにつれ私の中で司教様や神父様に対するイメージが一転しました。もっとお

堅いイメージだったのですが、まるで親のように接していただきました。そしてなによりも、司教様と共に語る時間が印象に残っています。このような時間を持たせてもらえることに感動したのと、共に考え悩んでくださったていることに感謝しました。司教様や神父様のぬくもりに、長い時間包まれていたような感覚の大会でした。

そして、様々なところから参加者が来ていらっしやったので、その方たちとも語り合う時間を持つことができました。同じ年代の方と語り合うこと、違う年代の方と語り合うことで非常に共感する点、また新たな考え、刺激をもらうことができました。



ここが天国への入り口
～宇部・小野田ブロックに派遣されて～
宇部・小野田ブロック担当司教
片柳弘史神父

この春から、宇部・小野田ブロックで奉仕させていただいております、イエズス会の片柳神父です。これからお世話になる広島教区の皆さんに、簡単に自己紹介をさせていただきます。



出身は埼玉県、上尾という地方都市の郊外で、園芸農家の長男として生まれました。今年で四十三歳になります。実家は神棚と仏壇がある日本の普通の家庭でしたが、大学生のとき、父を亡くしたことがきっかけで教会に通うようになり、洗礼を受けました。受洗後、キリスト教のことをもっとよく知りたい、イエスの愛にもっと近づきたい

という思いから、インドのカルカッタに渡航。マザー・テレサのもとで一年あまりボランティアをしていました。その間に、マザーから司祭になつてはどうかと勧められたことがきっかけで、司祭への道を歩み始めることになりました。一九九八年にイエズス会に入会、二〇〇八年に司祭叙階の恵みを受けて現在に至ります。

宇部・小野田ブロックでは、三つの教会の主任司祭、三つの幼稚園の園長補佐、また美祿社会復帰促進センターの教誨師として奉

仕させていただいています。ブロック内には、小野田老人ホームやサビエル高校もあり、小さな子どもからお年寄りまであらゆる世代の人々と深く交わる機会に恵まれています。地方の小さなブロックではありますが、世界中どこからでも天国への距離はみな同じ。わたしにとっては、この地が天国への入り口だと確信し、与えられた使命に日々、全力を尽くしたいと思っています。宇部教会に居住しておりますので、近くにお越しの際はぜひお訪ねください。

広島教区練成会『私をお使いください』

日付：8月11日（月）～8月13日（水）
場所：カトリック山口教会・天使幼稚園
対象：小学5年生～中学3年生

夏休みも近づきました。今年も楽しい企画を用意していますので、是非ご参加ください。詳細は、各小教区配布の案内をご覧ください。

（山口教会 平松栄一郎）



教会巡礼で訪れたある教会。スタンプの横にページが探しやすい様ページ番号と、『ようこそ』のメッセージが添えてある。気遣いに癒され静かに祈りし

て後にした。（あお）